



人としての器
概要資料

「人としての器」研究チーム

「人としての器」研究チーム

羽生琢哉、高橋香、木暮知佐子、山田芳毅

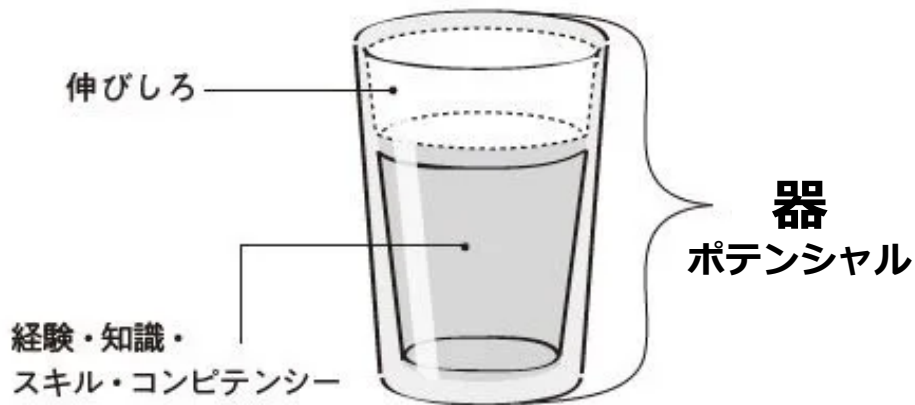


写真提供：前野隆司先生

『人としての器を磨き、個性と可能性を拓き続けることで、深く通じ合える社会へ』
をミッションに、人としての器に関する研究・実践を通じて、円熟した社会への変容に取り組んでいます。

<https://h-utsuwa.com/>

「人としての器」 研究の出発点



小野壮彦『経営×人材の超プロが教える 人を選ぶ技術』94ページより

- 一般的な管理職研修では**知識・スキル**中心で、即効性のあるツールやフレームワークを重視しがち
- しかし、**人間的な成長**が十分でない中で、スキルやテクニックだけを学んでも失敗するケースも
- 例えば、器が小さいまましていると、自分の価値観でしか判断できない、自分の信念に沿った意思決定ができない、メンバーの多様性を受け入れられない、一人ひとりに合ったマネジメントができないなど
- その結果、メンバーは疲弊し、閉塞感に苛まれ、本来のパフォーマンスを発揮できない状態に

「人としての器」という観点で人間性を育むことが重要

「人としての器」の意味

人としての器とは・・・

人間性、人格、発達度合、能力、思考・信念、倫理観、他者受容性など、特定の人^の在り方や振る舞いを特徴づける様々な要素を総合した、非常に抽象度の高い概念。

- 「人としての器」は広くいうと人間全体、**私たちの人生そのもの**といってもいいくらいの深さと広がりを持った考え方です。
- 「人としての器」について考え、自らの器を磨き続けることができれば、**心の安定と穏やかな成長**につながり、そうした人が一人また一人と増えていくことで**世の中全体が包摂**され、**真にウェルビーイングな社会**になると考えています。

教育研修活動 無料イベント“金曜の夜はいれものがたり”を開催

毎月第2・第4金曜日の夜に、入門版のワークショップ“[いれものがたり](https://h-utsuwa.com/iremonogatari)”を開催。

「人としての器」に関する、これまでの研究成果のエッセンスを紹介し、対話形式で理解を深めていきます。

<https://h-utsuwa.com/iremonogatari>

あなたの器を知ろう！

金曜の夜は“いれものがたり”

～「人としての器」を成長させるワークショップ～

教育研修活動

ゲストを招いた“特別版いれものがたり”を開催



6/1 (木)
スペシャルゲスト
ウェルビーイング

"いれものがたり" x 前野隆司
タカシと一緒にあなたの「器」を知ろう！



無料
イベント

経験豊富な実践者と紡ぐ、
「人としての器」の物語

いれものがたり x 中竹竜二

当日お会いしましょう！

2023年8月2日(水)
20:00-21:30
オンライン(Zoom)で開催
主催：「人としての器」研究チーム

特別ゲスト：中竹竜二氏
(株式会社チームボックス)



イベント告知

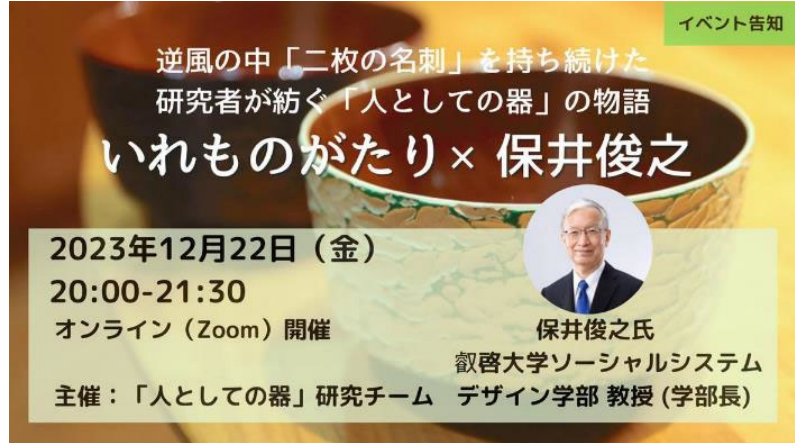
経験豊富な実践者と紡ぐ「人としての器」の物語

いれものがたり x 鈴木規夫

2023年11月24日(金)
20:00-21:30
オンライン (Zoom) 開催

特別ゲスト：鈴木規夫氏
(一般社団法人
Integral Vision&Practice)

主催：「人としての器」研究チーム



イベント告知

逆風の中「二枚の名刺」を持ち続けた
研究者が紡ぐ「人としての器」の物語

いれものがたり x 保井俊之

2023年12月22日(金)
20:00-21:30
オンライン (Zoom) 開催

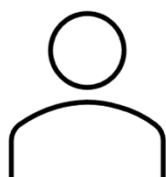
保井俊之氏
叡啓大学ソーシャルシステム
デザイン学部 教授 (学部長)

主催：「人としての器」研究チーム

“いれものがたり”参加者の声



- 自身の器とはどのようなものか？という観点で探求したことがありませんでしたが、これまでの自身を構成してきた要素やこれからのあり方を探求するうえで非常に興味関心を持つことができ、今回の出逢いに感謝しています。
- 器という視点で経験を振り返ることが非常に面白く、自分の新たな気づきにつながりました。
- 他の方のお話から大変刺激を受けました。こちらのお話を整理して頂けるのは有難かったです。
- 抽象的な概念の器だからこそ、枠にとらわれずに自由に考えられて、どんなことでも許容してもらえる感じがとても心地良かったです。
- 初めての参加でしたが、主催者の皆さんがとても穏やかな空気を創り出してくださったのでリラックスして時間を楽しむことができました。



- 自分を掘り下げて語ってみる経験がなかったのでとても新鮮でした。こんな風に語ることで自画像が明確になり、また、自分が何によって器が大きくなったのか顧みることができました。
- 感じるままに内側を言葉にして表現できたことに喜びを感じました。
- 相手の話しを聞く際に、そのときの気持ちや想いを一緒に味わい理解しようというスタンスで傾聴できたことは良かったです。また、内省を深める問いを意識的に投げかけることにより、探求を推進する貢献もできたと思います。

※入門版WS“金曜の夜はいれものがたり”の満足度は4.6点（5点満点）。上記は参加者の事後アンケートより抽出

© 人としての器

教育研修活動 個別に対応するパーソナル“いれものがたり”

パーソナル“いれものがたり”では、個別に十分な時間を取ったうえで「あなたならではの」の器の物語にじっくりと耳を傾けさせていただきます。この機会を利用して、ご自身の器を見つめ直していただければ幸いです。

<https://h-utsuwa.com/personal-iremonogatari>



教育研修活動 人としての器探求シリーズ：陶冶（とうや）

「人としての器探求シリーズ：陶冶（とうや）」と題した定期セミナーを開催。
この定期セミナーでは、参加者の皆さまと対話を通じて、「人としての器」という概念を一人ひとりの実践に紐づけながら探求していくことを目指します。

<https://h-utsuwa.peatix.com/events>

人としての器探求シリーズ：陶冶（とうや）

第1回

今、なぜ「人としての器」を
学ぶことが必要なのか？

無料

4.12 金

オンライン開催

18:30-19:30



株式会社人としての器
羽生 琢哉

人としての器探求シリーズ：陶冶（とうや）

第2回

「人としての器」とは、
どのような概念なのか？

無料

4.26 金

オンライン開催

18:30-19:30



株式会社人としての器
羽生 琢哉

研究活動

人としての器ラボ（Uラボ）

これまで明らかになった研究成果の枠組みを参照しながら、各人が自分なりのテーマを掲げて「人としての器」を探求するためのラボ（通称：Uラボ）を立ち上げました。Uラボでの実践活動を通じて、自らの器を磨き、広げていくことに関する実感を伴った理解を得られる機会を提供します。

<https://h-utsuwa.com/u-laboratory>



研究活動

- 羽生琢哉・高橋香・前野隆司, 「人としての器」に関する探索的検討, 経営行動科学学会第25回年次大会, 2022年10月
- 羽生琢哉・高橋香・前野隆司, 「人としての器」の大きさに関する検討, 人材育成学会第20回年次大会発表論文, 2022年12月
- 高橋香・羽生琢哉・前野隆司, 「人としての器」の成長要因に関する検討, 人材育成学会第20回年次大会発表論文, 2022年12月
- 高橋香・前野隆司, 人としての器の成長プロセスモデル構築, 慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科 修士学位論文, 2023年3月
- 羽生琢哉・高橋香・前野隆司, 「人としての器」の成長プロセスの解明, 人材育成学会第21回年次大会発表論文, 2023年12月


https://h-utsuwa.com/intro/research_results

広報活動

・人としての器に関するコラム記事を公開中

<https://h-utsuwa.com/blog>

「人としての器」を学ぶことの意義




「自分らしさを磨き、大きな心で包み込む」

「人としての器」を学ぶことは、自分自身や他者と真剣に向き合うことであり、それによって豊かな人間関係を築く基盤ができ、一人ひとりの人生をより意義のあるものにします。

お互いに支え合いながら、素敵な器をつくりましょう！

「うつわ」の語源に秘められた日本人の精神性



「うつわ」はもともと「うつほもの」（空のもの）


共通概念のウツ（空）＝色即是空、空即是色

- ・ウツワ（空）－空っぽの場所
- ・ウツロイ（移）－変化
- ・ウツツ（現）－現れる実態

→ うつわは、空っぽに見えるが、すべての色を包み込む余白であり、新たな変化と現実を生み出す母体

「人としての器」の大きさをどう捉えるか

- ✓ 器の大きさは、受け止める中身の総量と、それが溢れているかどうかで推し量るもの
- ✓ 真に器の大きな人は、絶えず中身を注ぎ入れながらも溢れないように器を広げ続ける




人としての器が小さいとは、経験（出来事や責任）に伴う思考や感情の変化を十分に受け止めきれず溢れこぼれている状態

人としての器が大きいとは、経験（出来事や責任）に伴う思考や感情の変化を十分に受け止められて丸く収まっている状態

ウェルビーイング、キャリア自律、人としての器の関係


Being (状態) に重心がある	
ウェルビーイング	人としての器
自分との向き合い方に重心がある	他者との向き合い方に重心がある
キャリア自律	
Doing (実践) に重心がある	

「人としての器」の評価をどう考えるか？



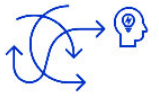
実証主義

- ✓ 客観的に観察できるものを対象とし、主にアンケート調査手法により、量的データに置き換えて評価する。
- ✓ ただし、標準化できない深層部分を捉えることは困難であるという限界がある。



解釈主義


- ✓ 個々の価値観や経験に基づく主観的な理解を重視し、主に質的調査を用いて複雑で多様な真理を探求する。
- ✓ ただし、評価者の主観と過度の相対主義が公平な評価を難しくする懸念がある。



批判的実在論

- ✓ 事象の背後にある見えない構造を重視し、量的・質的的手法を織り交ぜながら、構造を推論して探求する。
- ✓ ただし、完全な構造理解は困難で、絶えず追求するプロセス志向が求められる。

バブル世代問題に対する「人としての器」という指針



感情
感情コントロール
心の余裕

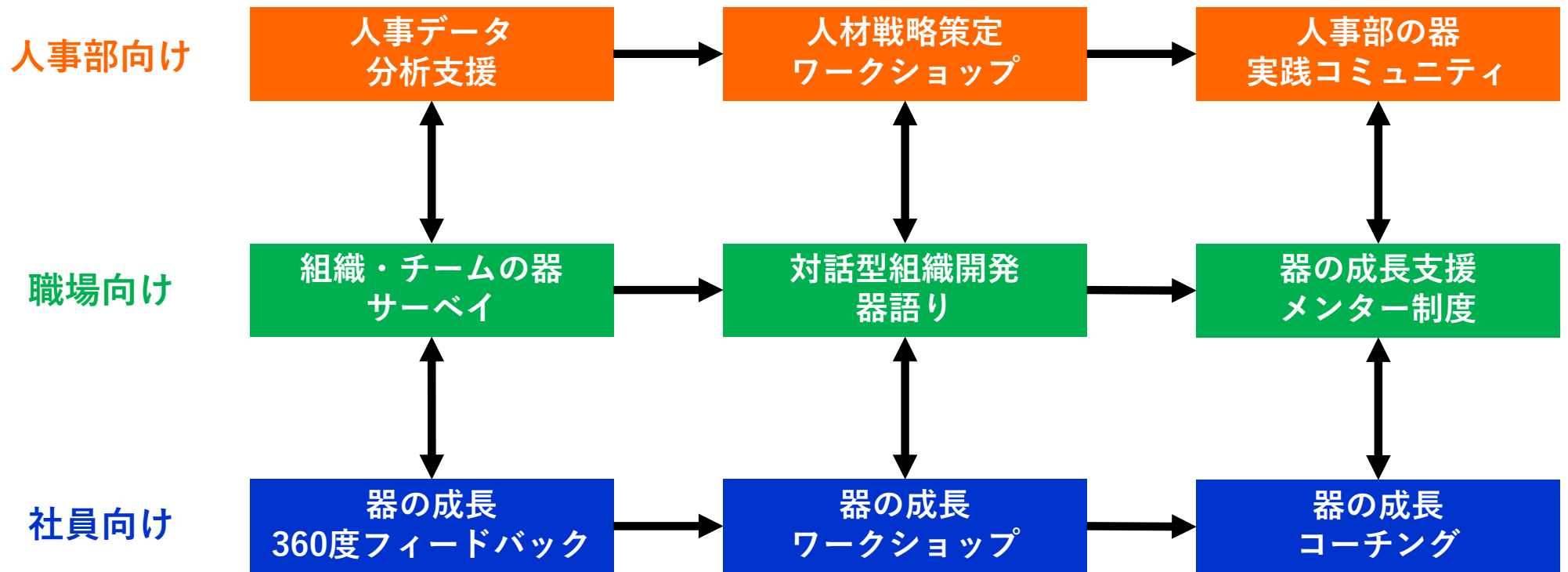
他者への態度
相手の話を真剣に聴く
備そうにしない

自我統合
学ぶ姿勢
自分軸を持つ

世界の認知
視野を広げる
メタ認知

何歳になっても素敵な器をつくっていきましょう！

組織における器の成長プログラム体系（サービス準備中）



法人概要

- **会社名** : 株式会社人としての器
- **所在地** : 神奈川県横浜市西区浅間町一丁目4番3号ウィザードビル402
- **代表者** : 羽生琢哉
- **設立** : 2024年
- **URL** : <https://h-utsuwa.com/>
- **事業内容** : 人事・キャリアコンサルティング、人事データ分析、人材戦略策定支援、人材開発、組織開発、コーチング等

一緒に素敵な器をつくりましょう！



ご相談やご質問は
お気軽にお問合せ下さい

羽生琢哉

hanyu.takuya@h-utsuwa.com